

第39回 郷土文化講演会

『鉄砲から見た 和時計』

講演者 鑑定士 澤田 平 氏

(テレビ東京 開運!なんでも鑑定団 出演)

時計は鉄砲なり

現在見ることのできる、江戸初期に製作されたと推定される和時計は、刀剣や鍔や鉄砲といった武器製造の高度な技術が集約されたものと判断することができます。歯車も骨組みも、そして側板さえ総鉄製のものがあります。飾り気の少ない大ぶりなその姿は、戦国時代の実用本位の武骨な武器を彷彿させます。

和時計の研究者は、機械時計が伝来した後の、何も分からない不透明な暗黒時代の永さに戸惑います。そして銃砲史の研究者も、それと同様の苦しみを味わいました。和時計と同様に和銃の本格的研究者も少なかったのです。

銃砲史の世界から時計史を眺めると、今まで見えなかった、和時計の世界の不明な部分がほのかに見え始めます。

「時計は鉄砲なり」。歴史的にも技術的にも恐ろしいほどの共通性を有するこの二つの工業製品は、やがて江戸時代の日本人の生活の中にしっかりと腰をおろし、想像もできなかった二十一世紀のハイテク日本の繁栄を約束する基礎的な技術の土台となったのです。

(著書『鉄砲から見た和時計』より抜粋)



講演者 澤田 平 氏 略歴

昭和10年、大阪市にて出生。近畿大学法科・関西医療学園を経て、現在澤田整骨院院長。本業の傍ら、愛知・三河の砲術師の末裔として長年式砲術と古式鉄の研究に取り組む。一方、自宅に残されていた元禄期の和時計を修理した際、その精密なメカニズムに驚き、古い文献を頼りに独学で製作を始める。

昭和・平成唯一の和時計の製作・復者。堺鉄砲研究会主宰。

著書=『「横町鉄砲」「日野鉄砲」「鉄砲からハイテクへ』』『日本の古銭』』『江戸時代の空気銃「気泡」』『砲術士筒「武道芸術秘伝図注解」』『久米通賢の鉄砲』『随横備用方注解』『天文乞食「朝野北水」』『名鉄百選』『鉄砲をすてなかった日本人』



開催日 2025年 2月 22日(土) 先着 300名

時間 午後2時～4時〔午後1時30分より受付開始〕

参加費 500円(資料代・当日支払) ※大阪商業大学学生は無料

会場 大阪商業大学 ユニバーシティホール「蒼天」

申込 件名に「第39回郷土文化講演会申込」と記入し、「氏名(フリガナ)・日中連絡のとれる電話番号」をお書き添えのうえ、メールまたはFAXにてお申し込みください。なお、申込に対する返信や通知等は致しませんので、申込後、当日そのまま会場にお越しください。定員超過等でご受講いただけない場合のみご連絡いたします。

メール kkcccircle@gmail.com FAX 06-4306-3035

<お問い合わせ> 河内の郷土文化サークルセンター事務局
〒577-8505 東大阪市御厨栄町4-1-10 (大阪商業大学 谷岡記念館内)
電話:06-4307-6570 FAX:06-4306-3035 (10:00~16:30/日・祝除く)
お問い合わせの際は、最初に「河内の郷土文化サークルセンター事務局担当」をお呼び出しください

※当日の欠席連絡は不要です
※お車での来場はご遠慮ください
※参加費はできるだけおつりの出ないようご用意ください